

もう、不登校で悩まない

おはなしワクチン

効能：不登校の予防に効きます 副作用：なし



効能：不登校の予防に効きます 副作用：なし



※ちょっとだけ耳に痛い場合があります

不登校について

不登校の数は何人？

346,482人

中学では16人に1人

それは誰にでも起こりうる

それは突然やってくる

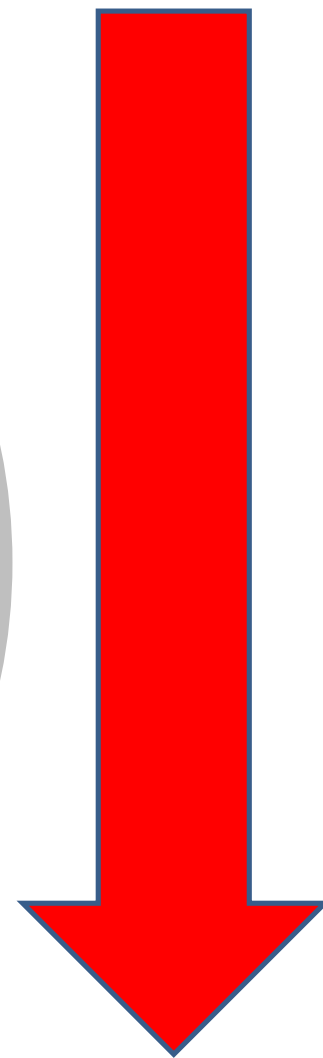
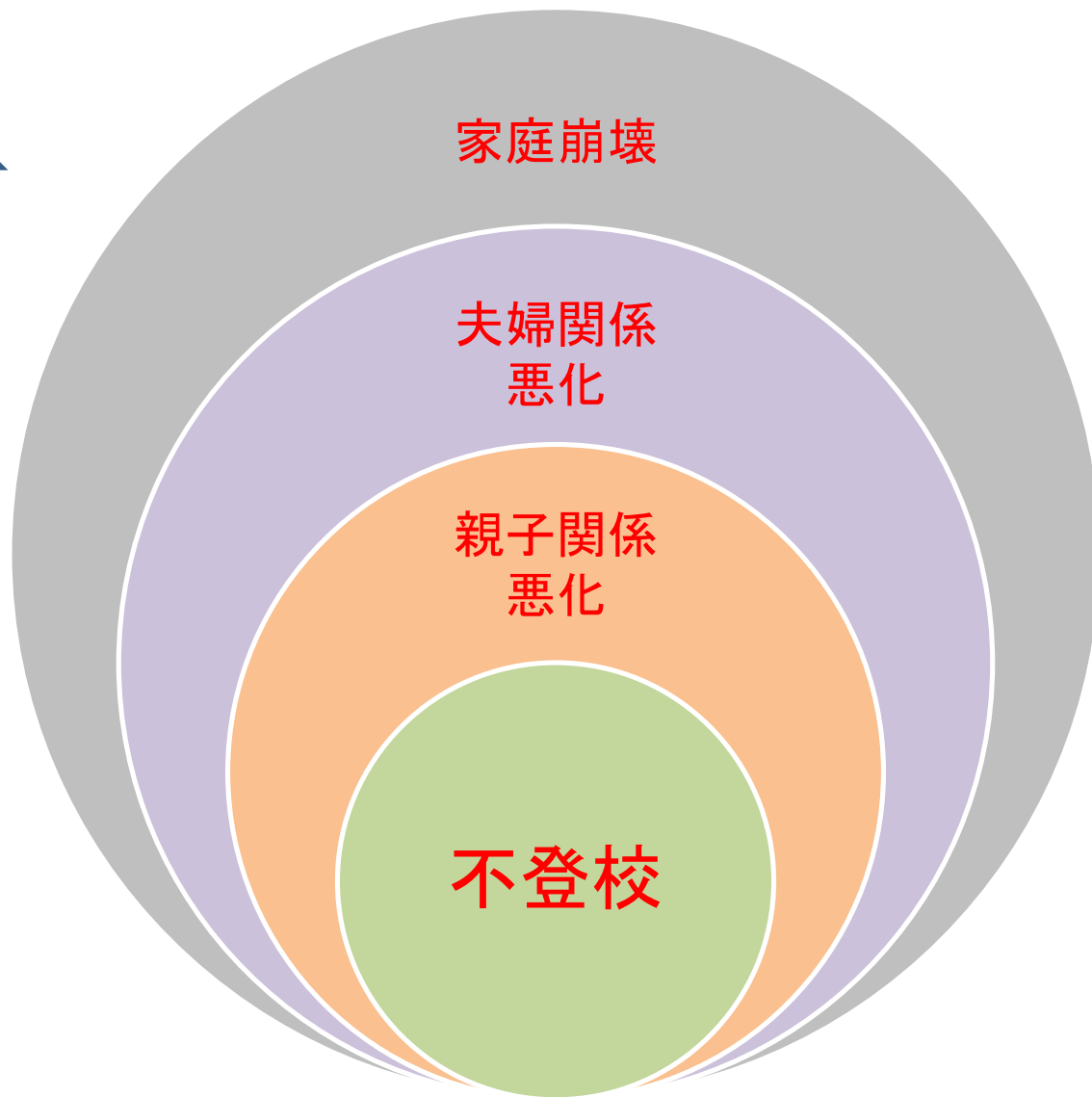
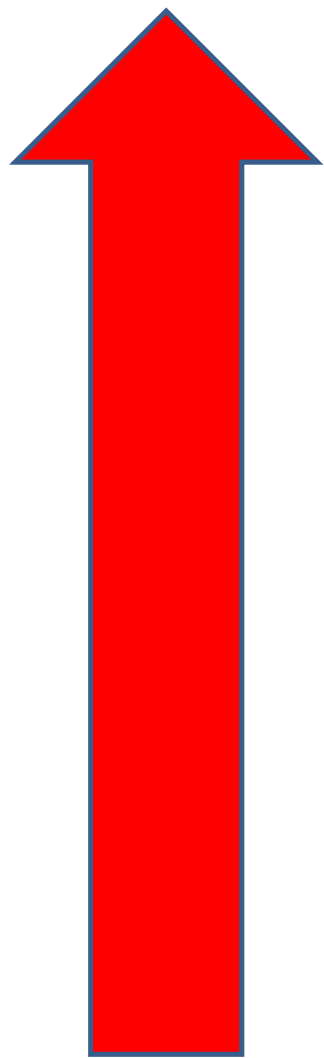
不登校の原因はさまざま

- いじめ
- 先生が嫌い
- 勉強が嫌い
- 友達ができない
- 発達特性
- 感覚過敏
- その他

よくある家庭のパターン

おまえの育て方が悪いんだ！

あんたが無関心だからよ！



不登校ってどんなこと？



ネジがネジ穴に合わない

無理やりネジ込みますか？

ネジ込んで壊してしまいますか？



金魚は海水では生きられない

環境が自分に合わないだけ

# 学校PTSD

学校アレルギー

小麦アレルギーの子に  
小麦を食べさせますか？

最悪、死に至る。

根性では乗り切れない！

小麦を食べなくても生きていける

小麦を以外のものを食べればいい

ひとつ、注意が必要なこと

心のケガは目に見えない

頑張れば行けると思ってしまう

血だらけで帰ってきたら……

無理やり学校に行かせます  
か？

心もケガをする

心からも血が流れる

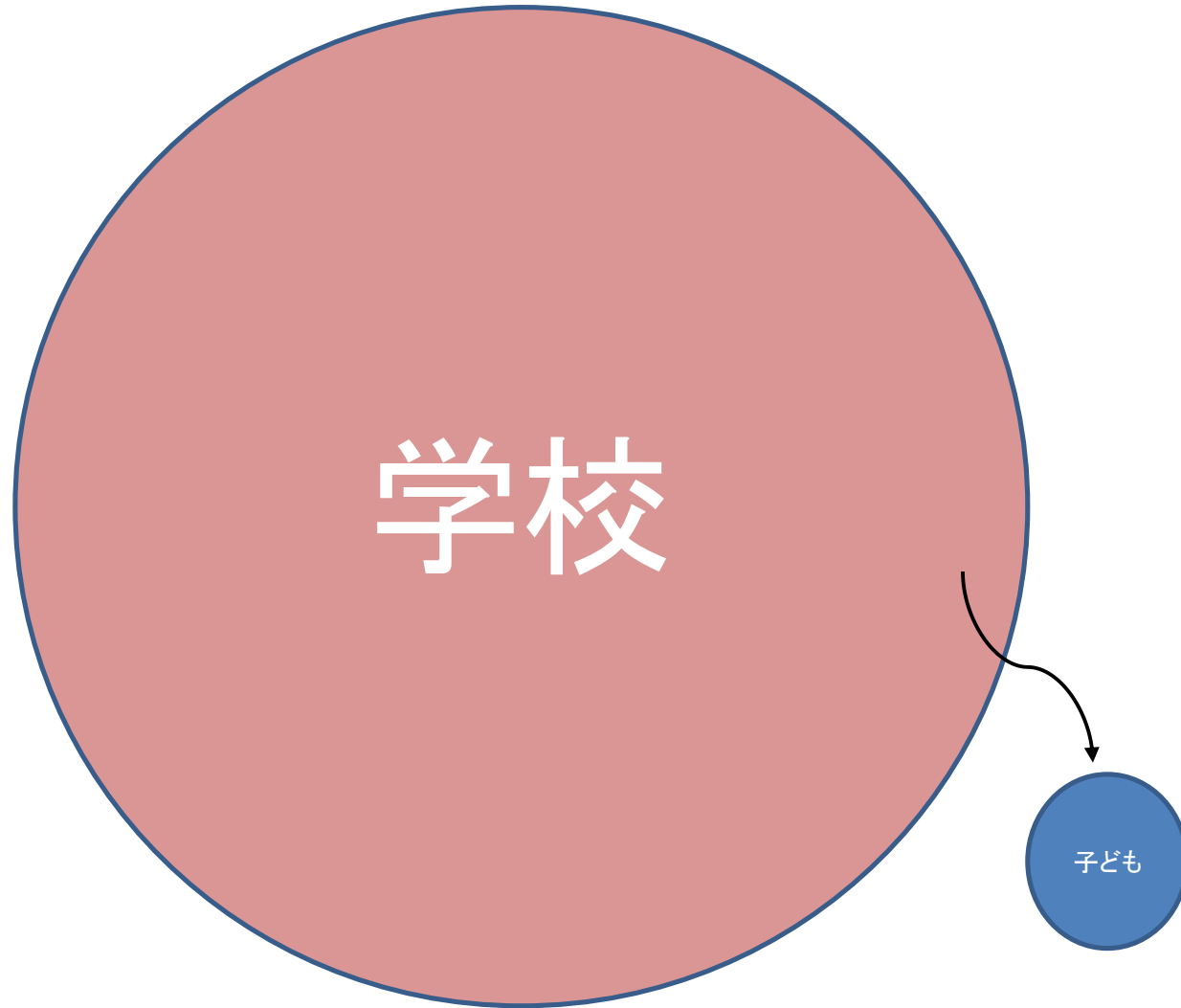
でも、心のケガは目に見えない

ケガをしたら、まず休む

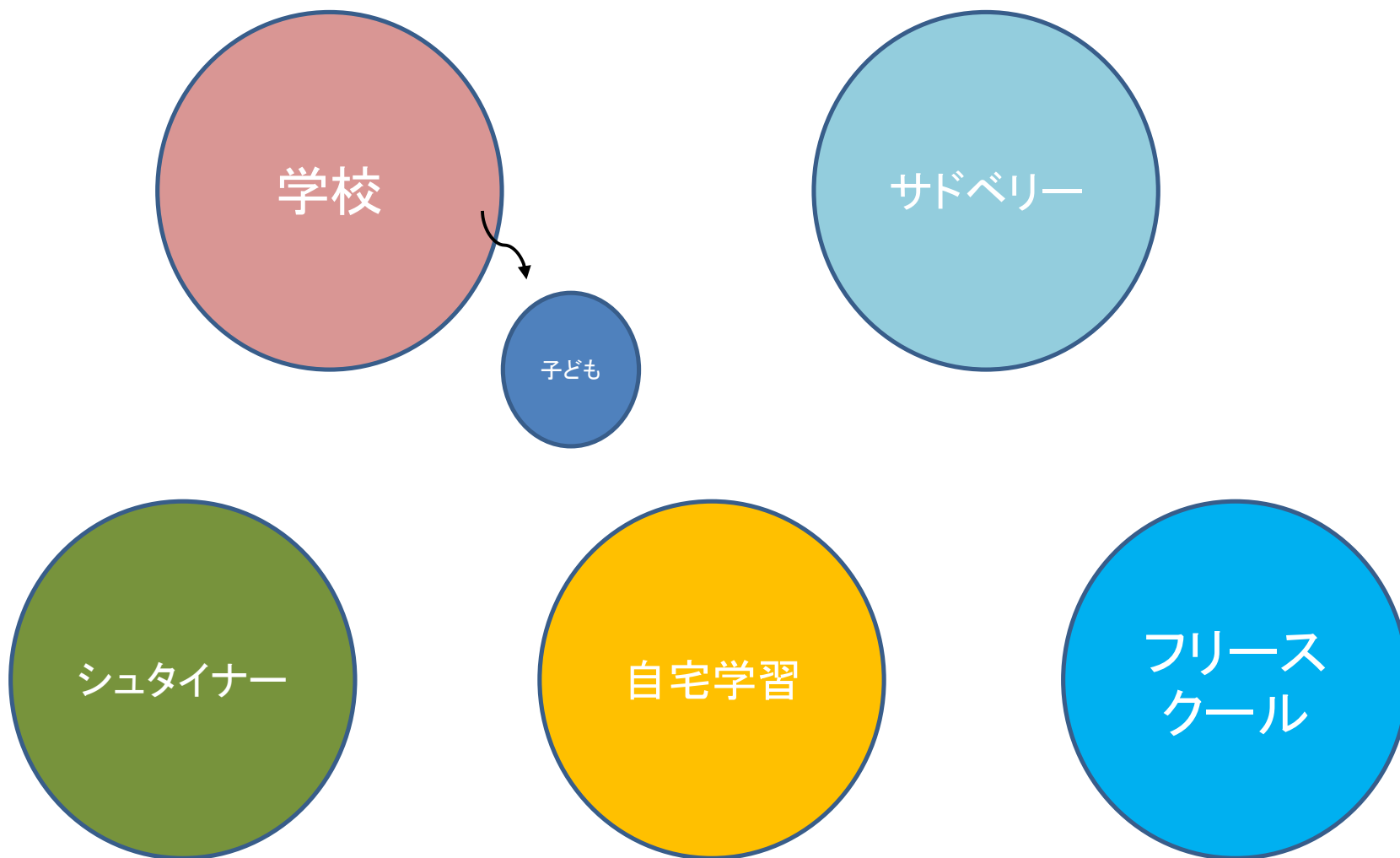
慌てて動く必要はない

さて、不登校のイメージは

(不登校)



# (多様な学び)



もう、不登校で悩まない

おはなしワクチン

なぜ悩みが消える？

「法律」と「多様な学び」

# 第1部

法律のはなし

**義務教育の勘違い！**

子どもには就学の義務がない  
い

# 【憲法26条】

## 【第一項】

すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する

## 【第二項】

すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う

**【学校教育法 第二章】**  
**(昭和22年制定)**

## 【第一項】

**保護者**（子に対して親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいう。以下同じ。）は、次条に定めるところにより、**子に九年の普通教育を受けさせる義務を負う。**

# 【教育基本法 前文】

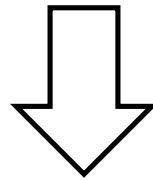
われらは、さきに、日本国憲法を確定し、民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において教育の力にまつべきものである

共通項＝昭和22年

子を働きに出すことを防ぐ

就学は保護者にとっての義務  
子どもにとっての義務ではない

就学は保護者にとっての義務  
子どもにとっての義務ではない



矛盾？

# 教育機会確保法 (平成28年12月制定)

## 【第三条第二項】

不登校児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ、個々の不登校児童生徒の状況に応じた必要な支援が行われるようにすること。

不登校になっても大丈夫！

## 第2部

多様な学びのはなし

学校以外にも学びの道がある

# [オルタナティブスクール]

- ・ホームエデュケーション
- ・フリースクール
- ・シュタイナー教育
- ・サドベリー教育
- ・イエナプラン
- ・フレネ教育
- ・モンテッソーリ

近くにフリースクールがない

民間のフリースクールは高い

でも、大丈夫。

ホームスクールがある！

# [オルタナティブスクール]

・ホームエデュケーション

・フリースクール

・シュタイナー教育

・サドベリー教育

・イエナプラン

・フレネ教育

・モンテッソーリ

自宅でサドベリー教育  
||  
ホームエデュケーション

サドベリー教育の衝撃！

サドベリー教育って何？



一光社

ダニエル・グリーンバーグ  
大沼安史／訳

# 「超」学校

これが21世紀の教育だ

**自由こそが子どもに責任を教える鍵だ!**

子ども生来の好奇心を信頼して人間本来のナチュラルな学びを保障し、徹底した民主主義で運営した米国の学校の「驚異の実践記録」。この学校は、今や米国の教育改革運動の一翼を担う有力なモデルだ。本書は「いじめ」「登校拒否」など深刻な教育荒廃から日本の学校を再生させるアイディアの宝庫!

- 先生がいない
- カリキュラムがない
- 何をやってもいい
- ルールはみんなで決める
- みんなで決めたルールは守る

- デモクラティックスクールの一部
- 1968年、ボストンで始まった
- 世界に40校ほど
- 日本に10数校



# 2009年開校 5歳～18歳の在籍生徒



**生徒達は何をして  
1日過ごしているのか？**

# 誰かと会話をしている



# みんなでゲーム、料理、読書、 工作などに集中している



## 友達と過ごしている



なぜ、こんな教育で大丈夫なの？

背景に時代の変化

価値観が単一の時代

親の言うことを聞く



先生のいうことを聞く



人生がうまくいく

価値観が多様な時代

親の言うことを聞く



先生のいうことを聞く



人生がうまくいかない

世の中の変化が激しい

AIに仕事を奪われる時代

今の世が求める資質

自己肯定力

自己構築力

自己行動力

生きる力

枝葉にこだわる今の教育

根っこに水をあげる



スポーツ

アート

音楽

ものづくり

学問

商 売

IT

生きる力

(前半終了)

# 第3部

自己肯定感のはなし

不登校の最大の問題は

.....

自己肯定感が下がること

自己肯定感って何？

自分が自分であっていい  
という感覚

人生の土台となるもの



大切なのは土台 = 自己肯定感

自己肯定感＝心の元気

夢の実現

努力・頑張り

やる気

元気

勇気

活気

自己肯定感

自己肯定感が下がると……

自己肯否定が始まる

自分はダメな人間だ

自分は生きていけない

自分はどうなってもいい

夢の実現

努力・頑張り

やる気

元気

勇気

活気

自己肯定感

夢の実現

努力・頑張り

やる気

元気

勇気

活気

自己肯定感

夢の実現

努力・頑張り

やる気

元気

勇気

笑顔

自己肯定感

夢の実現

努力・頑張り

やる気

元気

勇気

笑顔

自己肯定感

夢の実現

努力・頑張り

やる気

元気

勇気

活気

自己肯定感

不登校になると  
なぜ自己肯定感が下がる？

学校に行けない自分はダメな人

親から、先生から、責められる

でも、行けない……

自分はダメな人間だ

自分は生きていけない

自分はどうなってもいい

不登校の最大の問題



人間の土台が崩れてしまうこと

自己肯定感を保つこと

まずは、自己肯定感を保つ！

# 不登校初期対応の基本

自己肯定感を高めるコツ

相手を責めない、否定しない

相手を肯定する

期待しない、心配しない

あなたは、いまのままでいい

ケガからの回復を優先

無条件に子を受け入れる



自己肯定感が高まる

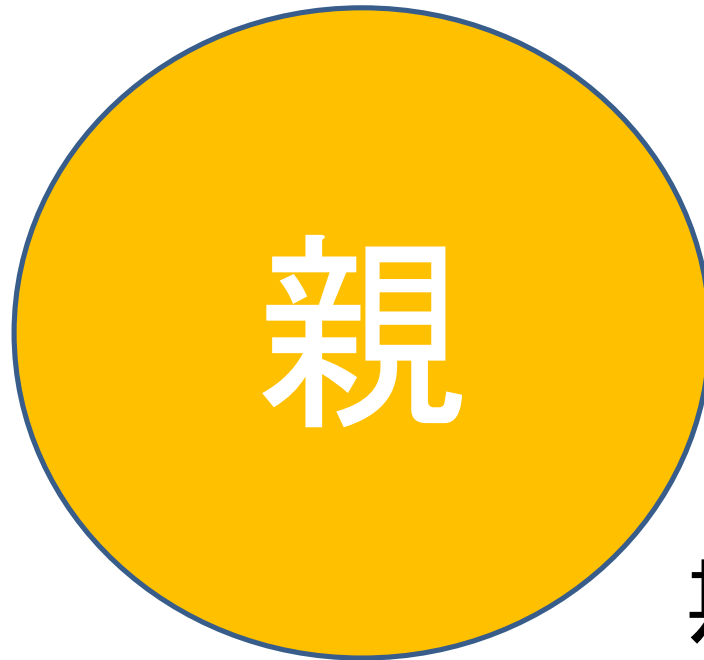
どうやって実践する？

ヒントはサドベリー教育

親子の対等関係を築く

# 〈一般的な親子の関係〉

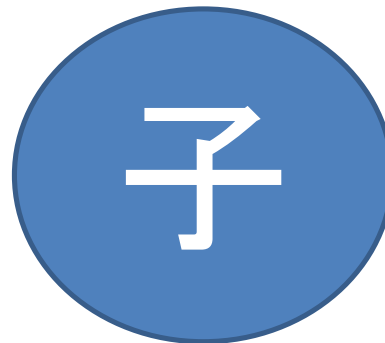
上



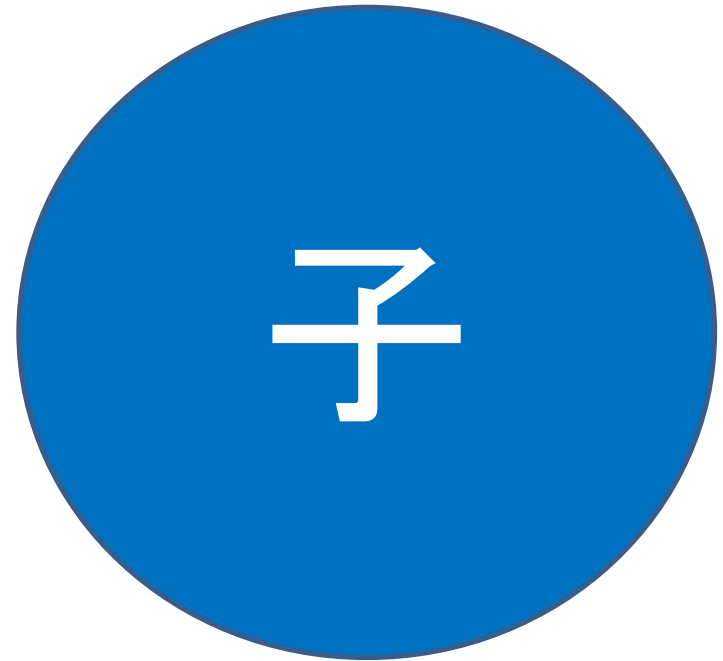
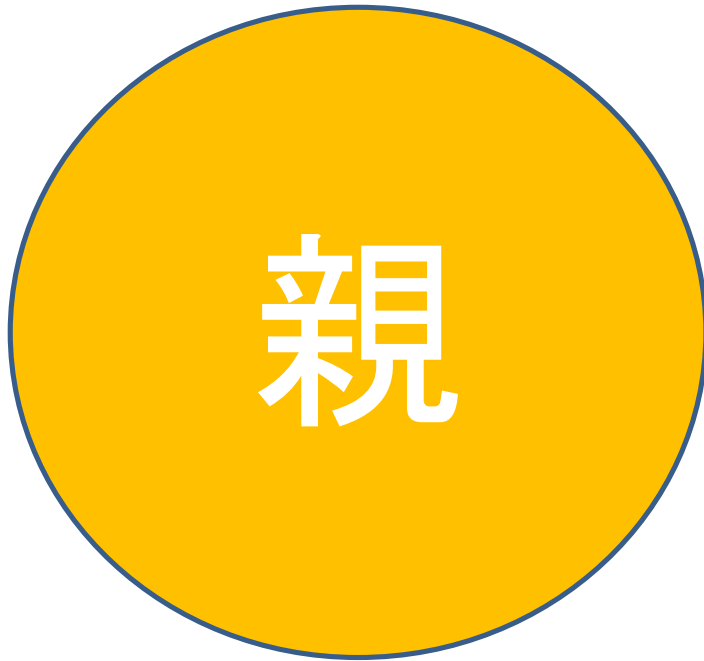
期待  
命令

心配  
禁止

下



# 〈サドベリーの的な親子の關係〉



信賴 尊重  
対話 協力

親から独立した存在

独立を認めることから、

自立が始まっていく

**独立 → 自立**

親ではなく、スタッフだと思う。

# 第4部

これからの学び

自分の「好き」と向きあう

好きこそものの上手なれ

①「好き」は学びの原動力

②「好き」は成功体験を生む

③「好き」から始まる我慢

## ④「好き」から始まる努力

⑤「好き」から広がる学び

⑥「好き」が人生を牽引する

- ①「好き」は学びの原動力
- ②「好き」は成功体験を生む
- ③「好き」から始まる我慢
- ④「好き」から始まる努力
- ⑤「好き」から広がる学び
- ⑥「好き」が人生を牽引する

「好き」は人を幸せにする



スポーツ

アート

音楽

ものづくり

学問

好きの力

商 売

IT



スポーツ

アート

音楽

ものづくり

学問

商 売

IT

生きる力

好きなことを、好きなだけ！

学びの樹が育っていく

ジャンルは問わない

親は価値判断をしない

子どもの好きを応援する

結果、親子の絆が深まる

子の自己肯定感が高まる

応援＝ほめる

応援 ~~≠~~ ほめる

「ほめる」は微妙に上から視線

「ほめる」は微妙に下心あり

応援＝無償の愛

羽生結弦を育てるつもりで

藤井聡太を育てるつもりで

子どもの好きを応援する

# 「親の役割」

親は子どものプランター

子どもは未来の種

芽を出すのは子ども自身

ヒマワリの種はヒマワリ

ヒマワリはバラになれない

親には何もできない

子どもをとことん支える

子どもをとことん信じる

子どもをとことん応援する

子どものファンになりましょう

応援すれば、子どもは育つ

応援すれば、絆が深まる

親子の絆が深まれば、、、

子の自己肯定感が高くなる

おまけ

親

保護者であり、支配者ではない。  
い。

ま と め

- ・教育は保護者にとっての義務
- ・子どもにとっての義務ではない

# [オルタナティブスクール]

- ・フリースクール
- ・シュタイナー教育
- ・サドベリー教育
- ・イエナプラン
- ・フレネ教育
- ・ホームエデュケーション

不登校になっても慌てない！

見守るだけで子どもは育つ

学校に行かなくても、  
子どもは立派に育ちます

お わ り